

**【中期学校経営方針「健やかな体」達成目標】**

◆家庭と協力して、個に応じた生活習慣の改善を図り、日常の体育科指導や特設クラブ、体力アップタイム、食育などを通して体力の向上を図る。

**<児童生徒の体育・健康面の姿>**

- 体育学習では、自分のめあてに向かって能動的に学ぶ児童が多い。一方で、苦手意識が強かったり、飽和状態になったりすることで、学習が停滞する児童も見受けられる。
- 新体力テストのデータから、シャトルランやソフトボール投げなどで、全国平均や市平均の数値を下回っている。(持久力、投運動)
- 中休み・昼休みは、外でおにごっこやボールを使った遊びをする児童が多い。また、長縄を使って、クラスみんなで運動を行う姿も見られる。
- 平成24年度より始まった「タグラグビークラブ」へは、昨年4年生から6年生の希望者100余名が参加。
- 地域における外遊びができる空間としては、主に公園、広場、学校の校庭である。校庭では、毎日のようにサッカーやバスケットボールをして楽しむ児童の姿が見られる。

**<体育・健康に関する指導の目標・方針>**

- 目標設定・課題選択・活動決定という「めあて学習」のプロセスを大切にし、問題解決的な体育学習を通して、運動が「できる」「わかる」喜びを児童が感じられるようにする。
- 運動する「時間」「空間」「仲間」を意図的に生み出し、児童が日常的に運動に親しむことができるようにする。
- 児童が自他の健康や安全に関心を持ち、共に健やかな体をつくっていかうとする気持ちをもつことができるようにする。

**教科**

**《体育科・保健体育科での取組》**

- ・体育科では、児童が「できる」「わかる」を実感できるように計画的に授業を行う。特に、1時間ごとの指導内容を明確にし、それに基づいた指導を行うとともに、授業評価・授業改善を行っていく。
- ・低中高のつながりを意識した系統的な指導を行う。

**《他教科での取組》**

- ・家庭科では、食育との関連を図り、食と健康のつながりを児童が理解し、自己の生活へと還元できるようにする。
- ・日常の給食指導および、学校HPを活用した情報発信(給食室より)、「給食だより」の発行などを行う。

**道徳・特活・総合**

- ・平沼カップ(運動会)では、日頃の体育科学習で培った資質能力をさらに発展させて、児童が生き生きと運動できるように、種目内容を工夫する。
- ・学校保健委員会では、児童の健康面での課題を取り上げて、計画的・継続的な取り組みを通して課題解決を図っていく。
- ・体育整理委員会では、「体力アップタイム」の計画・運営を通して、全校児童の体力向上を目指す。また、日々の体育倉庫清掃や校庭整備を継続的に行い、全校児童の運動環境を整える。

**課外活動**

**【タグラグビークラブ】**

- ・6月中旬より活動開始。朝7:45~8:15までの30分で行う。
- ・各種大会や横浜市タグラグビー交流会に参加し、その成果と課題をもとに次なる活動につなげていく。

**【休み時間の有効利用】**

- ・中休み(20分)の確保
- ・各クラス担当の用具の充実
- ・教職員が率先して外に出る

**【地域との連携】**

- ・地域のスポーツ推進委員連絡協議会と連携しながら、各種大会に出場したり、出前授業を実施したりする。

**平成27年度 平沼小学校 体力向上1校1実践運動**

《名称》 体力アップタイム

《ねらい》 ・運動の機会の確保 ・多様な運動にふれる機会の確保 ・仲間と協力し絆を深めること

《内容》

- 体力アップタイムの開催(持久走、7秒間走、投運動など)
- 年3回の長縄シブ開催(7月、10月、2月)
- 区スポーツ推進委員や市体育協会職員と連携した運動教室の実施(ダブルダッチやさわやかスポーツなど)

●指 標: ①新体力テストの結果分析(全国平均、市平均との比較)

②生活意識調査の分析(運動やスポーツの実施状況、1日の運動・スポーツの実施時間)

③長縄:各クラスによる目標設定と年度末の振り返り(記録の伸びを確認する)

④「記録カード」を児童一人ひとりに配布し、個々の記録の伸びを実感できるようにする。